

## 毎日が庭球日(その3)

| 鹿児島市医師会臨床検査センター参与 | 東 耕治

昨年11月に四医師会関連会議出席のため宮崎に出張した折、私の拙文を読まれた鹿児島市医師会の某理事から「東さんに負けられないから、明朝早めに宮崎を発って鹿児島での9時からの早朝練習に参加する」と言われました。

某理事は県テニスランキング上位に名を連ねる程の腕前の持主なのですが、外交辞令とはいえ格下の私ごときにライバル心？を持たれていることに不思議な感情を抱きました。

現在金曜日のレッスンを含め週5日テニスを楽しんでおりますが、さらなる飛躍を求めて11月から鹿児島ローンテニスクラブ(鹿児島LTC)に入会させていただきました。同クラブは昭和22年に当時山形屋役員であった樋口 佳雄氏が結成された由緒あるテニスクラブで会員数も80余名の大所帯です。練習は水曜日(東開コート)、土曜日(市営鴨池コート)、日曜日(知覧コート)となっておりますが、今のところ水曜日のみ参加しております。大所帯ゆえにいろいろなタイプのプレーヤーがおり、対戦のたびに多くの驚きとレベルの高さを実感しています。名手の方々の打球を受けるために自分がどのように対処すべきか悩むことばかりです。大振りをせずコンパクトにラケットを振り抜くことだけは理解していますが、フラットドライブ、スライス、スピンとボールの質も様々で思っている程簡単ではありません。

しかし、出来ないなりにいろいろと考えることがとてつもなく楽しい時間となっております。そして考えたことが少しでもプレーに反映できた時は無上の喜びに変わります。現役

で仕事をしていた時も難解な仕事ほど闘志がわき苦勞してもやり遂げた時の達成感は何事にも代えがたいものでした。

ある時先輩から「年をとっても強くはならないけど、上手くはなれる」との金言をいただきました。古希を前にもっと上手くなりたいとの強い思いがあります。そのためには体力を維持しつつ、努力を重ねていきたいと思っています。

数年前から健康の森公園で柴犬を連れた初老の男性と会話をするようになりました。お話を伺うと、テニス経験が豊富な方で鹿大テニス部OB、社会人では山形屋で活躍された方だとわかりました。私達夫婦の練習をいつも温かい眼差しで見守ってくださり、時には貴重なアドバイスをいただいております。過日は知覧の大会にもわざわざ足を運んでいただき応援してくださいました。

テニスを通じた数々のご縁、大変ありがたく何事にも代えがたい財産となっております。これからも歳を重ねていきますが、思いやりと感謝の気持ちを忘れずに、できるだけ長くテニスを続けていければと願っています。